



# News Letter

日本小児歯科学会九州地方会

令和3年8月31日発行

日本小児歯科学会  
九州地方会事務局(令和3年度)

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1  
鹿児島大学小児歯科学分野  
TEL: (099)275-6262  
FAX: (099)275-6268

## 日本小児歯科学会九州地方会 会長挨拶

公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会 会長  
山崎 要一



昨年4月より2年間の任期で九州地方会会長を務めております鹿児島大学の山崎です。

微力ではありますが九州地方会の発展に貢献できるよう尽力致しますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年より猛威を振るっております新型コロナウイルス感染症により、昨秋の九州地方会鹿児島大会を含む6地方会は全て中止となりました。さらに、今年に入ってから、変異株によるリバウンドも認められ、今春、大会長を務めました第59回日本小児歯科学会大会は、苦渋の決断により現地開催を断念し、Web開催となりました。結果的には盛況に終えることができ、これも一重に、快くご講演の依頼をお引き受け頂きました演者の皆様、開催準備にご支援、ご尽力賜りました牧理事長をはじめ、本会役員の皆様、ならびに口腔保健協会の関係者と関連企業の皆様、そして本大会にご参加下さいました方々のご厚情の賜物であると拝察し、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

開催形式の大幅な変更へのトライアル的な意味合いを含む今回のWeb大会でしたが、これまで様々ご事情で、現地参加が難しかった方々にとりましては、15日間の配信期間中に、ご自宅などのリラックスした環境下で、自由な時間に学術大会をお楽しみ頂ける新たな可能性があることも期待しておりました。

準備段階では、参加者数の激減による失敗大会の危惧が頭をよぎった時期もありましたが、推測は幸いにも好転し、結果として参加登録者数が1,900名を超え、地方大学が主幹した全国大会としては、おそらく過去最多記録を樹立したものと思われまます。

新型コロナウイルス感染拡大の状況下では、遠隔形

式による学術大会開催も有効な手段となり、多くの先生方やスタッフの方々にご視聴頂けたことをたいへん嬉しく思っております。Web大会であっても多くの方との絆を確かめることができたことは、対面の学術大会に限らず、様々な形で小児歯科の世界を広められる展望が拓け、大きな収穫でした。

新型コロナウイルス感染の克服に向け、我々、歯科医師側の状況も変わって参りました。院内での日々の感染対策に加え、危機に瀕した我が国のためにワクチン接種を担当する側として活動できることになったことは、歯科医師への認識をさらに高める良いきっかけとなり、微力ながら著者自身も研修を受け、鹿児島県の大規模接種に従事しております。鹿児島大学病院には職域接種を含めて多くの機関からの要請が参っており、教授や准教授などの職籍に関係なく、志願した100名近くの歯科医師が毎日各所に派遣されております。感染拡大を食い止めるにはワクチン接種は重要な鍵であり、多くの方に接種を受けて頂き、コロナウイルスとの長い戦いに1日も早く終止符を打って、皆様と対面で再会できる日が訪れることを期待しております。

最後になりましたが、「STAY HOME」の中で子どもたちの生活習慣、食習慣が乱れていると言われております。小児う蝕の増加も含め、心身の成長発育への影響が懸念されます。小児歯科医として子どもたちの口腔の健康に加え、より良いQOLの提供を図って行きたいと願っております。

## 日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



そらだ小児歯科医院 院長  
空田 安博

九州地方会会員の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、昨年の初めから新型コロナウイルスの世界的蔓延という未曾有の事態の中、診療の制約を受け地域の子供たちのために日々ご尽力されていることと存じます。

思い起こせば昨年の2月に新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し始め多くの学校が休校にせざる負えなくなりました。診療に関して言えば医療物資の不足によるストレスに大いに悩まされ、マスクと消毒用アルコールの需要大と供給減のダブルパンチを受けることになり、今までに経験したことのない異常事態に遭遇しました。4月には1回目の全国的な緊急事態宣言に突入し、人と人との対面に厳しい制限がかかり、九州地方会の役員会がメール会議となり、第58回日本

小児歯科学会は誌上開催となりました。さらに第38回九州地方会は中止に追い込まれました。世間ではオンラインによる会議が推奨され、その後の九州地方会の役員会はZoom会議にて開催し、第59回日本小児歯科学会大会もWeb開催となりました。

「withコロナ」「afterコロナ」と呼ばれるこれからの時代は、当たり前だったことに大きな変化を強いられることになるでしょう。山崎会長の九州地方会運営にもコロナによる大きな影響受けていますが、関係各位の先生方の懸命な取り組みのおかげで着実に前進しています。これからも直面するあらゆる問題に1つ1つ丁寧に対応し、皆様と共に九州地方会発展の歩みを進めて参りたいと願っています。

## 日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



九州大学大学院歯学研究院  
小児口腔医学分野 教授 福本 敏

今年東京オリンピックの年ですが、このニュースレターを書いている時（7月初旬）は開催の方向で準備が進められ、東京での新型コロナウイルス感染症が再び増加していることから、無観客かあるいは観客を入れるかの議論がなされているところです。このニュースレターが発刊され、皆様のお手元に届いている時には、感染が広がることもなく無事に終了していることを期待しているところです。また、令和2年度の九州地方会は中止になりましたが、今年の地方会に関しては少なくともWebで開催されることは嬉しいことであります。準備を進めております長崎大学の藤原卓先生をはじめ、スタッフの方々に感謝申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルスの話題一色で、緊急事態宣言やまん延防止措置により、社会生活においても閉塞感が継続していることは否めません。個人的には、国際学会などはwebでしか参加できないことから、時間差のある地域での開催では、その時差から今までは

あり得ない時間帯に講演をしていることを不思議に感じてます。昼間は大学で仕事をして、夜から朝にかけて学会に参加している生活は、体は疲れているのですが何故か充実しているように錯覚します。今後大学から、「国際学会は現地で参加しなくても、webで参加すれば情報収集できるのではないかと」言われかねないかと心配しております。いくらIT化やwebシステムが発達しても、大切なことは情報収集だけでなく、人と人の繋がりや人間関係の構築には、やはり対面でない駄目なんだということをしっかりアピールしていかないといけないのかなと思っています。一方で、学会の会議などはweb化で効率よく開催できるようになったのも事実です。Webと対面の双方のメリットを生かしながら、ポストコロナに向けた取り組みを地方会でも実践していきたいと考えております。これからも会員の皆様にはご協力をいただきながら、九州地方会の発展に貢献できればと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いたします。

## 第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会報告

第38回日本小児歯科学会九州地方会大会長  
山崎 要一

第38回日本小児歯科学会九州地方会および総会は、令和2年10月4日にかごしま県民交流センターでの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止になりました。

ここに改めて、開催中止へのご理解に感謝申し上げますと共に、事後処理報告をさせていただきます。開催中止が決定した令和2年4月20日の時点で、第38回九州地方会大会PRのためのチラシの作成、企業への趣意書発送、会員の先生方に向けた地方会大会開催と演

題申し込みのご案内の発送準備が完了しておりました。そのため、後に掲載されている「第38回日本小児歯科学会九州地方会大会収支報告書」に記載のある通り、大会準備費として支出が発生し、会計処理を完了しております。

この度の第38回九州地方会大会にご期待いただき、また現地開催中止ならびに事後処理についてご理解を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。皆様の臨床ならびに研究のご発展を心より願っております。

## 第39回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会 開催のご案内



大会Webサイト

この度、第39回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会を下記の通り開催させていただきます。新型コロナウイルス感染症のため全ての地方会で基本リモート開催となりましたが、長崎限定の小規模集会を行い、教育講演をそこから配信予定です。大会Webサイトをご参照下さい。

大会テーマ：子どもたちを衛る（まもる）

1. 開催日時：令和3年11月28日（日）
2. 開催場所：リモート開催（11月28日より1週間配信を予定）  
出島メッセ長崎（長崎市）にて地域集会
3. 大会内容：
  - 1) 記念講演  
「小児歯科治療に必要な心理的知識—ストレスの無い小児歯科診療を目指して—」  
尾崎 正雄 先生（福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野教授）

大会長：藤原 卓  
（長崎大学生命医科学域（歯学系）小児歯科学分野）

- 2) 教育講演（認定歯科衛生士研修セミナー予定）、  
出島メッセ長崎よりリアルタイム配信予定  
「子どもたちをう蝕から衛る～フッ化物洗口を通じて～」  
品川 光春 先生（長崎県佐世保市開業）
- 3) 特別講演  
「“気を付けて”は通じない!?子どもの特性を知って事故を防ぐ」  
岡 真裕美 先生（大阪大学大学院人間科学研究科安全行動学研究分野特任研究員、子ども安全講師）
- 4) 企業提供セミナー
- 5) 一般演題：Web上でのポスター発表  
大学院生の発表に、SHOFUスチューデントアワードを実施します
- 6) 専門医・認定医更新プレゼンテーション（Web上での発表）
- 7) 認定歯科衛生士更新プレゼンテーション（Web上での発表）

4. 会費：歯科医師5,000円、歯科衛生士・その他2,000円

準備委員長 田上 直美（長崎大学小児歯科）  
学会準備事務局  
長崎大学歯学部小児歯科学分野内

〒852-8588 長崎市坂本1-7-1

T E L : 095-819-7673

F A X : 095-819-7674

E-mail : [jspdnagasaki@gmail.com](mailto:jspdnagasaki@gmail.com)

大会Webサイト

URL : <https://shonishika.jp/kyushu39/>

## 第40回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のご案内

第40回日本小児歯科学会九州地方会大会は、福本敏  
大会長のもと九州大学が担当します。皆様のご協力と  
ご参加をよろしくお願いたします。

大会テーマ 「人生100時代に向けた小児歯科医療の  
新たな展開 ～持続可能な口腔管理とは  
～」

大会長：福本 敏 準備委員長：小笠原 貴子

月 日：2022年11月13日（日）

場 所：福岡県歯科医師会館

役員会：11月12日（土）16時30分から

（場所：九州大学大学院歯学研究院）

懇親会：11月12日（土）役員会終了後開催予定

事務局：九州大学大学院歯学研究院

小児口腔医学分野

**令和2年度 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告書**

単位：円

収 入	
日本小児歯科学会より入金	1,501,130
利息	7
合計	1,501,137

支 出	
第38回日本小児歯科学会九州地方会大会援助金	246,385
ニュースレター印刷費・郵送費	177,760
ホームページ管理・更新費	187,000
事務費（通信費・振込手数料）	4,970
日本小児歯科学会本部への寄付金	885,022
合計	1,501,137

令和3年3月31日

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 岩崎 智憲

会計監査 奥 猛志

## 第38回日本小児歯科学会九州地方会大会収支報告書

単位：円

収 入	
補助金（九州地方会）	246,385
計	246,385

支 出	
大会準備費	233,625
通信費	9,240
雑費	3,520
計	246,385

令和3年3月31日

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 岩崎 智憲

会計監査 奥 猛志

## 令和2年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会 第1回役員会（メール会議）議事録

日時：令和2年4月24日（金） 発議  
5月2日（土） 審議完了

方式：メール審議

送付者：山崎 要一、福本 敏、空田 安博、  
尾崎 正雄、牧 憲司、藤原 卓、  
藤田 優子、小笠原貴子、岡 暁子、  
西口美由季、稲田 絵美、橋本 敏昭、  
今村 均、舩元 康浩、高風亜由美、  
森 奈千子、木船 敏郎、井上浩一郎、  
宮川 尚之、竹島 勇、柳田 憲一、  
奥 猛志、西田 郁子、石谷 徳人、  
岩崎 智憲、柳澤 彩佳、村上 大輔  
(敬称略)

### 1. 報告事項

- 1) 令和2～3年度 役員紹介
- 2) 日本小児歯科学会九州地方会会則について  
日本小児歯科学会九州地方会会則の変更点として、本会事務局を鹿児島大学大学院歯学総合研究科小児歯科学分野内におくこととなった。
- 3) 第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について  
第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、4月20日の本会からの連絡により、本年度は全ての地方会大会が中止となった。

### 2. 審議事項

- 1) 令和元年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告（橋本先生）
- 2) 第37回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計報告（西田先生）

- 3) 1) および2) に対する会計監査報告（奥先生、岡先生）
- 4) 令和2年度九州地方会事業計画  
学術活動として学術大会や研修セミナーの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により自粛することとなった。広報活動の強化のためのHPの活性化を継続する。また、例年通りニュースレターを発行する。
- 5) 令和2年度九州地方会予算案  
資料として提出した予算案は前会長庶務の馬場先生から今年1月に本会へ提出され、3月の役員会で承認されたものである。そのため、地方会大会が開催される前提での予算案となっている。
- 6) 地方会大会優秀発表賞案（牧先生）  
第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の開催を前提として検討していたが、新型コロナウイルス感染拡大により大会は中止となった。
- 7) ニュースレターの発刊について（村上先生）

上記について、役員27名による書面決議を実施した結果、

提出：23名、未提出：3名、意見のみ：1名  
承認：23名、未回答：4名

以上の通り、過半数の承認を得られた。予算案についてはコロナウイルスの感染が拡大する以前に本会の承認を得ていること、また、事業計画については自粛の続く現状では検討も難しいことから、具体的な提案を控えている。

必要に応じて、秋の第2回役員会では修正案等の検討も予定している。

## 令和2年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会第2回役員会議事録

開催日時：令和2年10月4日（日）10時～11時20分

開催方法：Zoom会議

出席者：山崎 要一、空田 安博、福本 敏、  
尾崎 正雄、牧 憲司、藤原 卓、  
藤田 優子、小笠原貴子、岡 暁子、  
西口美由季、稲田 絵美、今村 均、  
高風亜由美、森 奈千子、木船 敏郎、  
竹島 勇、柳田 憲一、西田 郁子、  
石谷 徳人、岩崎 智憲、柳澤 彩佳、  
村上 大輔

欠席者：奥 猛志、橋本 敏昭、舩元 康浩、  
宮川 尚之、井上浩一郎

（敬称略）

進行：稲田庶務幹事が行った。

### 1. 開会の辞

福本副会長が開会の辞を述べられた。

### 2. 会長挨拶

山崎会長が会長挨拶を述べられた。

### 3. 議長選出

今回はWeb会議であったことから、山崎会長が進行することとなった。

### 4. 報告事項

- 1) 山崎会長から、ニュースレターの発刊について報告があった。
- 2) 藤原常任理事から第39回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の準備状況について報告があった。木船県代表幹事から、コロナウイルスに配慮した対応について提案があった。

### 5. 審議事項

- 1) 尾崎常任幹事から、橋本県代表幹事の体調不良に伴う辞退届提出について説明があり、承認された。
- 2) 尾崎常任幹事から、橋本県代表幹事の後任について、昨年度末の福岡県の代表幹事推薦投票結果に基づき久保山博子先生が推薦され、賛成多数で承認された。また、後任人事について、九州地方会HPに掲載することで九州地方会会員へ周知し、異議については会長に連絡をする旨を記載することで決議とすることが承認された。

3) 山崎会長から、第40回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の開催について、九州大学に担当をお願いしたい旨を説明され、賛成多数で承認された。第40回大会の九州大学での開催について、九州地方会HPに掲載することで九州地方会会員へ周知し、異議については会長に連絡をする旨を記載することで決議とすることが承認された。

4) 山崎会長から、第59回日本小児歯科学会大会および総会の準備状況について報告があった。開催方法は現地開催とWeb開催の2案を検討していること、2021年1月末にはいずれかに決定することが説明された。

5) 奥特別幹事から事前にご提案のあった、コロナ禍での会員への情報配信にさらなる地方会HPの活用について、今後の学会開催情報等をHPに積極的に掲載することで承認された。

6) 奥特別幹事から事前にご提案のあった、今後の役員会の回数やあり方（方法としてのWEB会議の活用）について、山崎会長から今後数年で常任幹事が大幅に交代するため、可能な限り集まる機会を優先するべきとの意見が述べられた。石谷特別幹事から、九州地方会会員のMLを作成し、独自でメールマガジンや会員に向けた情報発信をする必要性について提案があった。藤原常任理事から、各地方会ML作成については本会に提案したほうが良いのではないかと提案があり、後ほど、山崎会長から牧常任理事（理事長）に提案することとなった。

7) 奥特別幹事から事前にご提案のあった、地方会大会発表における倫理審査必須化について、これまでは地方会での発表は大会長判断とされていたが、今後は一律、倫理審査を受けて承認されている研究についてのみ発表が認められることとなった旨を牧常任理事が説明された。また、各地方会でも、倫理審査について対応する委員が必要であるとの方針で本会の方で話し合いが進んでいることも説明があった。

8) 木船県代表幹事から、会員内外への学術配信の必要性について問題提起があった。

9) 山崎会長から、県代表幹事の世代交代のため、



定年制について提案があった。今後の課題として、各県で検討していただくよう説明があった。

10) 木船県代表幹事から、昨今の歯科材料製造停止について問題提起があった。牧常任理事から、今後情報収集に協力願いたいとの要請があった。

6. 監事総評  
岩崎監事から、九州地方会HPの充実と活用を図っていかねばならないと総評を頂いた。

7. 閉会の辞  
空田副会長が閉会の辞を述べられた。

## 令和3年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会事業計画

### 1. 学術活動

- 1) 学術大会（第39回公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会大会）の開催
- 2) 研修セミナーの開催  
新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、各委員会の意向に従う。

### 2. 学会活動の活性化

- 1) 表彰制度の実施と運営
- 2) 広報活動の強化

①ホームページの活性化

②一般社会へ向けた広報活動の推進

③ニュースレターの発行

### 3. 一般歯科医師、医師および小児歯科保健・学校歯科保健への啓発活動

①一般歯科医師への研修・資格取得支援による小児歯科医療の地域格差是正

②小児歯科医との連携

③学校歯科医会への協力

## 徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野教授就任の挨拶

徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野 教授  
岩崎 智憲



九州地方会の皆様におかれましては益々ご清祥のことと存じます。ご縁があり、2021年2月に長年お世話になった鹿児島大学を離れ徳島大学に赴任させて頂きました。九州地方会在籍時には大変お世話になり有難うございました。

私にとって九州地方会での大会は全国大会とは違った独特のどことなく懐かしい雰囲気を感じる、そして、良く存じ上げる九州の各大学の先生や開業されている先生とお会いする毎年秋の恒例の楽しみのひとつでした。それと同時に学問的にも多くのことを学ばせて頂き、自身の臨床や研究の成長に繋がる貴重な経験をさせて頂いてきました。実際に全国に目を向けても九州地方会ご出身で、現在は他の地方会で小児歯科学の教授をされるなど多くの先生が活躍されていらっしゃる

ことから九州地方会は広く社会的貢献を果たしている素晴らしい学術団体だと思います。現在、COVID-19の影響で中四国地方会活動も限定的になっていますが、私もこれまでいろんな教を受けた九州地方会の経験を少しでも中四国地方会の発展に微力ではありますが役立たせることが、九州地方会へのご恩返しだと考えております。

最後になりますが、山崎要一会長を中心に九州地方会のさらなる発展を祈念しまして私のご挨拶とさせて頂きます。九州地方会の皆様、長い間、大変お世話になり誠にありがとうございました。これからご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

## 九州地区 5大学講座一覧

大学分野名	主任教授名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
九州大学大学院歯学研究院 口腔保健推進学講座 小児口腔医学分野	福本 敏	812-8582	福岡市東区馬出3-1-1	092-642-6400	092-642-6468
九州歯科大学健康促進科学 機能育成制御学講座 口腔機能発達学分野	牧 憲司	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2-6-1	093-582-1131	093-583-5383
福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野	尾崎 正雄	814-0193	福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411 (代表)	092-801-0692 (医局直通)
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻展開医療科学講座 小児歯科学分野	藤原 卓	852-8588	長崎市坂本1-7-1	095-819-7674	095-819-7676
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科健康科学専攻 産生発達成育学講座 小児歯科学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-6262	099-275-6268

## 九州地区スタディーグループ一覧

研究会名	代表者	事務局	事務連絡先		連絡者 メールアドレス	電話番号	FAX番号	地域単位 の研修会
福岡小児歯科 集談会	二木 昌人	ふたつき子ども 歯科	810-0022	福岡市中央区薬院4- 1-26薬院大通センター ビル2F ふたつ き子ども歯科	fc-dental@san. bbiq.jp	092-523-7560	092-523-7540	○
NPO法人 Well-Being	中村 譲治		810-0041	福岡市中央区大名 1-15-24 Well- BeingBLDG2F	jimukyoku@well- being.or.jp	092-771-5712	092-741-8037	
月曜会	里村 弘子		814-0011	福岡市早良区高取1 丁目5-10 オリエン タル西新2F ひ ろこ小児・矯正歯科	hiroko@ hirokosensei.jp	092-833-8688	092-833-8689	
小児口腔医療 研究会	尾崎 正雄	福岡歯科大学 成育小児歯科 学分野	814-0193	福岡市早良区田村2- 15-1 福岡歯科大学 成育小児歯科学分野 内	pedoral@college. fdcnet.ac.jp	092-801-0411	092-801-0692	○
北九州小児歯科 臨床研究会	空田 安博		807-0874	北九州市八幡西区大 浦1-5-15 そらだ小 児歯科医院	info@sorada.or.jp	093-602-8369	093-602-8381	
佐賀小児歯科 研究会	梅津 哲夫		849-0935	佐賀県佐賀市八戸溝 3-8-2 うめづ歯科・ 小児歯科医院	umedusika@mbn. nifty.com	0952-30-2555	0952-30-5566	
長崎小児歯科 臨床医会	堀内 礼子	池田 靖子	852-8155	医) いけだ歯科医院 長崎市中園町8-7	y1888@ae.aunoe- net.jp	095-843-1888	095-843-1888	○
熊本小児歯科 懇話会	逢坂 亘彦	入江 英仁	861-3206	上益城郡御船町辺田 見366-1 入江歯科 医院	e.irie@mail. sysken.or.jp	096-282-3188	096-282-3177	
宮崎小児歯科 医会	菅 真弓		880-0124	宮崎市新名爪188番 地35 すが歯科	suga-dc@ miyazaki-catv. ne.jp	0985-39-9509	0985-39-9508	
宮崎障害者歯科 懇談会	安部 喜郎		880-0834	宮崎市新別府町久保 田683-1 宮崎歯科 福祉センター	d-senter@mnet. ne.jp	0985-83-3344	0985-83-3345	
小児歯科臨床を 語る会	奥 猛志	長谷川大子	890-0082	鹿児島市紫原4-30- 15 はせがわこども 歯科	hasegawa@ kodomo-dc.jp	099-812-6030	099-812-6031	○
沖縄小児歯科 研究会	竹島 勇	たけしま歯科	904-2143	沖縄市知花1-25-11 たけしま歯科小児歯 科	takeshimadental@ hotmail.co.jp	098-939-4211	098-939-4244	○

## 令和3年度小児歯科学会専門医セミナーに関するお知らせ

### 専門医セミナー

令和3年度は開催を予定しています。  
決定しましたら学会ホームページでお知らせいたします。

### 専門医・認定医合同セミナー

日 時	令和3年9月（公開期間：令和3年9月1日(水)～15日(水)）
会 場	WEB 開催
テーマ	小児での医療倫理と規範
講 師	藤原 卓 先生（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻小児歯科学分野） 小畑 真 先生（小畑法律事務所・日本小児歯科学会顧問弁護士）

## 日本小児歯科学会九州地方会会則

(平成23年10月10日一部改正)

第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。

第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。

第3条 本会の事務局は別に定める所におく。

第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。

第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。

会長 1名

副会長 2名

常任幹事 5名

幹事 若干名

・庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。

・次期大会長、地方会推薦理事、本会理事長推薦理事は特別幹事とする。

・大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。

・監事 2名（議決権は有さないものとする）

2. 役員任期は、2か年とする。ただし再任は妨げない。

なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。

第6条 1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。

3. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。

4. 監事は会計および会務を監査する。

第7条 1. 次期会長および監事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。

2. 県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。

3. 大学代表幹事は5大学小児歯科講座の推薦によって決定する。

4. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。

5. 次期役員は総会で決定する。

第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。

第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。

第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。

第11条 本会には顧問をおくことができる。

第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。

第13条 会務の円滑な運営のため、内規を役員会で決めることができる。

第14条 第8条の規定にかかわらず付則2、内規の変更に関し、役員会において行うことができる。

(付則)

1. 本会則は昭和58年4月から施行する。

本会則は平成20年11月23日から改正施行する。

本会則は平成23年10月10日から改正施行する。

2. 本会の事務局は、令和2年4月1日より下記に置く。

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科

小児歯科学分野

日本小児歯科学会九州地方会事務局

T E L : 099-275-6262

F A X : 099-275-6268

(内規)

1. 役員会は現在の年2回から必要に応じて年3回開催する。
2. 九州地区各大学においては、現在地方会会長をまだされていない教授の方々が多くなってきていることより、当分の間は大学の教授と開業医が交互に九州地方会会長として選出されることが望ましい。
3. 監事および副会長は大学、開業医からそれぞれ1名選出する。
4. 日本小児歯科学会への地方会推薦理事は会長が推薦し、役員会で承認する。
5. 一般幹事は、大学代表幹事（5名）と県代表幹事、福岡（2名）、長崎（1名）、熊本（1名）、大分（1名）、佐賀（1名）、宮崎（1名）、鹿児島（1名）、沖縄（1名）の計14名とする。
6. 幹事選出にあたっては、大学代表幹事は各大学の推薦による。また、各県代表幹事は各県下所属の会員による推薦によって選出する。ただし、推薦の結果や各県の事情によって決定に至らなかった場合は九州地方会会長に一任とする。将来においては、各地域において推薦された人を対象として選挙を実施し決定する方向が望ましい。

7. 幹事としてその任に対して十分にその責任を遂行できないと判断された場合は、九州地方会会長は注意勧告することが出来る。さらに改まらない時は役員会の合意を得て、推薦団体に対して責任を果たせる人選を依頼することができる。
8. 九州地方会本会からの大会援助金は一律50万円とし、大会長の要請があれば支出することができる。
9. 大会前日の役員会会議費は九州地方会会計から支出することとする。
10. 歯科医師の当日会費は一律5,000円とする。
11. 学会活動の活性化のため、大会開催以外の予算措置を含めた事業計画を立案し、役員会の承認により実施する。

## 日本小児歯科学会における研究倫理審査の注意事項

### 地方会大会演題提出・受理と研究倫理審査について

人を対象とした臨床研究では、研究倫理審査の承認後にデータの収集や解析が開始されなければなりません。すでに研究が開始されていることが判明した場合には、研究倫理審査の対象にはならないこととなります。

研究倫理審査について、審査委員会の承認を受けずに研究を開始したことが判明した場合、日本小児歯科学会は当局（厚労省や文科省）に報告する義務が発生します。そのようなことになると、国民の健康や福祉に寄与する公益法人としては、由々しき事態といえます。地方会も学会本会の公益事業になりますので、同じレベルでのチェックが必要です。

これまで、倫理審査前に開始されている疑いのある研究も少なからず提出されておりましたが、今後は6月末から施行された新しい研究倫理ガイドラインを遵守しなければなりません。地方会大会の主催者側が、研究倫理審査未承認の演題を受理してしまうと、提出した先生も受理した側も、倫理規程違反となり罰則が科せられます。よって、人を対象とした臨床研究を開始する前には、必ず研究倫理審査を受け、承認を得るようにしてください。

### 研究倫理予備審査委員について

現在提出されている研究倫理審査の申請書は、記載事項の不足や不備が多く、審査を行う前の段階で差し戻しになることが少なくありません。研究計画自体に問題のある申請も多く、申請者には、できる限り出身大学または地方会の近隣大学の講座の先生と相談することを求められております。そのため、各地方会の予備審査委員が地方会大会へ登録された演題の審査ならびに研究倫理審査委員会への申請書作成の段階での助言を担当することになりました。研究倫理予備審査委員への事前相談は、審査の円滑化と研究レベルの向上に繋がることが期待されます。

### 九州地方会 研究倫理予備審査委員

田上 直美（長崎大学 准教授）

t-naomi@nagasaki-u.ac.jp

稲田 絵美（鹿児島大学病院 講師）

inada@dent.kagoshima-u.ac.jp

## 令和3年公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員名簿

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会長	山崎 要一	(鹿児島大学)	県代表幹事	森 奈千子	(熊 本)
副会長、常任幹事	福本 敏	(九州大学)	県代表幹事	木船 敏郎	(大 分)
副会長	空田 安博	(福 岡)	県代表幹事	井上浩一郎	(宮 崎)
常任幹事	尾崎 正雄	(福岡歯科大学)	県代表幹事	宮川 尚之	(鹿児島)
常任幹事	牧 憲司	(九州歯科大学)	県代表幹事	竹島 勇	(沖 縄)
常任幹事	藤原 卓	(長崎大学)	特別幹事(地方会推薦理事)	空田 安博	(福 岡)
大学代表幹事	藤田 優子	(九州歯科大学)	同 上	柳田 憲一	(福 岡)
大学代表幹事	小笠原貴子	(九州大学)	同 上	奥 猛志	(鹿児島)
大学代表幹事	岡 暁子	(福岡歯科大学)	特別幹事(理事長推薦理事)	西田 郁子	(九州歯科大学)
大学代表幹事	田上 直美	(長崎大学)	同 上	石谷 徳人	(鹿児島)
大学代表幹事(事務局庶務幹事)	稲田 絵美	(鹿児島大学)	監事	奥 猛志	(鹿児島)
県代表幹事	久保山博子	(福 岡)	監事	岩崎 智憲	(徳島大学)
県代表幹事	今村 均	(福 岡)	会計幹事	柳澤 彩佳	(鹿児島大学)
県代表幹事	舩元 康浩	(佐 賀)	広報幹事	村上 大輔	(鹿児島大学)
県代表幹事	高風亜由美	(長 崎)			

## 編集後記

残暑の候、暦の上では秋とはいえ、厳しい暑さが続いております。昨年  
から続く新型コロナウイルス感染症の影響は今なお継続しておりますが、  
その最中に開催致しました第59回小児歯科学会大会に際しましては、地方  
会会員の皆様のご支援、ご協力を賜り、無事盛会のうちに終えることが  
できましたことを厚く御礼申し上げます。

11月28日開催予定の第39回九州地方会大会におきましても、藤原卓大会  
長のもと素晴らしいプログラムがご準備されております。一人でも多くの  
九州地方会の皆様にご参加いただければ有難く存じます。

末尾になりましたが、本号を発行するにあたりご協力いただきました皆  
様に、心より感謝申し上げます。

村上 大輔